

平成26年7月11日
県土整備部河川課

報道関係者各位

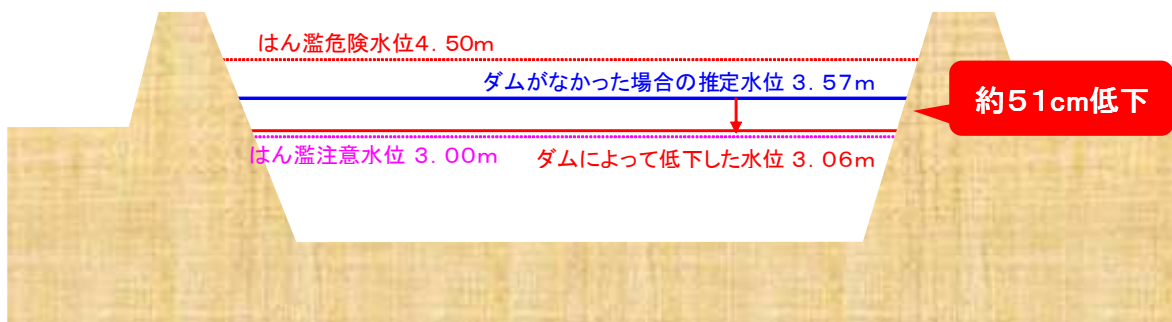
荒沢ダム（鶴岡市・県管理）において防災操作を実施 洪水時の赤川の水位を下げる効果を発揮しました

県内では7月9日より発達した低気圧により、記録的な豪雨に見舞われていますが、一級河川赤川にある県が管理する荒沢ダム（鶴岡市荒沢）では、9日から10日にかけて、河川水位の急激な上昇を防ぐ「防災操作」を行い、ダムに流入する毎秒最大770m³の洪水を毎秒360m³に低減し、下流の熊出水位観測所（鶴岡市熊出地内）において、水位を約51cm低下させました。

今回荒沢ダムが貯留した洪水の量は約128万m³であり、これは約1.3km²の土地が1m浸水する洪水の量（東京ドーム約1個分）に相当します。

※ 東京ドーム体積：124万m³

熊出水位観測所状況（鶴岡市熊出地内）



氾らん危険水位（計画高水位）とは・・・
洪水により、相当の家屋浸水等の被害を生じる氾らんの起こる恐れがある水位を表しています。

（問い合わせ先）

県土整備部河川課

課長補佐 工藤 哲 TEL 023-630-2686

庄内総合支庁建設部荒沢ダム管理課

課長 多田信之 TEL 0235-55-2021

(参考)



荒沢ダムの概要

水系名・河川名	赤川水系赤川
位置	鶴岡市荒沢
目的	洪水調節、発電、 既得取水の安定化・河川環境の保全等
竣工年	昭和31年
型式	重力式コンクリート
堤高	63.0 m
堤頂長	195.5 m
流域面積	162 m ²
湛水面積	1.89 m ²
有効貯水容量	30,870 m ³



(荒沢ダム全景)